【事業名】おかざき重要湿地保全活用事業
（愛知県岡崎市）　【団体名】おかざき湿地保全活用協議会

令和6年度　生物多様性保全推進支援事業
実績報告書別紙10－6

事業の背景・目的

岡崎市は生物多様性おかざき戦略に基づき、多様な自然を後世に残すため、湿地保全を進めている。これまで、重要湿地に選ばれている市内の湿地のうち、北山湿地においては市民による定期的な保全活動が実施されており、市は保全活用計画を定め、市と市民活動団体と学識者３者による懇談会を設置し、計画的に保全を進めてきた。本事業では北山湿地のみならず自然共生サイト認定申請検討中の小呂湿地を、より多くの市民が自然と触れ合うことができる拠点となるよう、基盤づくりを実施していく。また、懇談会を協議会に格上げし、その他の湿地を含め、様々な主体と連携をしながら調査・保全・活用に向けた体制の構築等も併せて実施していく。

事業の内容

事業①　湿地調査事業
・保全が実施されていない湿地現状調査
・北山湿地、小呂湿地のモニタリング

事業④　おかざき重要湿地保全活用方針策定事業
・事業①の結果から重要湿地の保全活用方針策定

事業②　湿地整備事業
・北山湿地案内看板等設置
・北山湿地の樹木で樹名板作成





事業③　湿地活用事業
・小呂湿地自然観察会実施
・北山湿地親子向け観察会実施





得られた成果

・湿地の案内看板等の設置や樹名板作成により、湿地に訪れた方々がより湿地を理解してもらえるような整備を実施することができた。
・小呂湿地での自然観察会の実施や、北山湿地での親子観察会の実施をすることで、より多くの市民に自然を知ってもらうことができた。
・小呂湿地の湿生植物の状況調査や、市民ボランティアの調査データを整理し資料化することで、継続的なモニタリングやより効果的な種別の保全へと繋げることができた。また、調査データは今後の小呂湿地の自然共生サイト認定申請のための基礎資料として活用していく。
・岡崎高校、岡崎北高校の生徒と共同で北山湿地、小呂湿地の保全作業や調査を実施。地元の学生に調査活動の場を提供し自然環境への理解を深めてもらうとともに、保全活動の輪を広げることで継続的な生物多様性保全に繋がる。
・北山湿地、小呂湿地以外の市内重要湿地の調査を行い、「おかざき重要湿地保全活用方針」を策定できた。
・本協議会は、学識者・市民団体・市の三者共同の協議会であり、三者で意見や情報交換を行うことで、より効果的な保全や活用が期待できる。引き続きこの活動体制を維持し、生物多様性保全の推進に努めていく。



【高校生によるｻｷﾞｿｳ調査】